

農業ふれあい公園だより No.21

2014
(平成26年)
MARCH

【岩手県立農業ふれあい公園 農業科学博物館】 岩手県北上市飯豊3-110 TEL 0197 - 68 - 3975



岩手県立農業ふれあい公園の敷地面積は17ヘクタール。散策路には多種多様な植物が植えられ、四季折々花や実を楽しみながら散策ができます。小高い桜の丘からは、「ひょうたん池」「せせらぎ水路」「水車」緑の芝生等の景色が楽しむことができます。広い駐車場ときれいなトイレも整備されています。



農業科学博物館には、江戸時代後期から昭和40年頃まで農作業や暮らしに使用していた用具など約4,500点の資料が収蔵されています。

第1展示室「農業れきし館」では、岩手の広大な大地と風土で営まれてきた、農業の歴史と作業の様子、人々の暮らしを感じながら見学していただける構成となっています。

第2展示室「農業かがく館」には、「田んぼの世界」「冷蔵庫の中」「牛のからだ」をイメージした3つの部屋があり、ゲームやパソコンにふれながら学習し、科学の目で見えた農業の不思議や、岩手の農業を楽しく体感できるしかけを盛り込んで展示しています。

収蔵室には貴重な資料が収蔵され、希望の方は見学することができます。



博物館・公園トピックス

親子体験学習会 そばを作って食べました！ 平成 25 年 7 月 28 日～11 月 17 日迄の 4 回の継続講座



農の生け花展 平成 25 年 8 月 30 日～31 日



「岳水流盆景」作品展
及川昭一さん(北上市)



親子で体験 お正月の松飾りをつくりました！ 平成 25 年 12 月 22 日



ふれあい公園棚田で田植え 平成 25 年 6 月 5 日

土の感触を楽しみながら元気に田植え！



一日子ども農業研究員 平成 25 年 8 月 1 日

農業れきし館で昔の農具を見学しました



平成25年度 企画展レポート

第56回 暮らしと稲わら加工 平成25年4月7日～6月28日



稲わらが広く利用され始めたのは、鉄製の柄鎌で稲^{えがま}株を地際から刈り取り始めた7,8世紀頃のことであると言われています。

江戸時代や明治時代を通じて自給自足の生活、生業の農業を形成する基本が構築され、1965年(昭和40年)頃まで、手作りのわら加工品が活躍しました。



企画展では、わら加工に使われた道具と製品を紹介しながら、暮らしの技と豊かな生活の知恵と文化を考えていただく機会としました。

第57回 岩手の郷土食～粒食・粉食に使われた道具～ 平成25年7月7日～9月29日



人類は遠い太古の時代から「食物の確保」のため、いろいろな知恵を出し暮らしを営んできました。自然物の採種から栽培への取り組み、地域外産物との交換へと進展しました。

食物は単なる物量だけでなく、栄養価や嗜好性、経済性などにより選

択の幅があり、調理や加工、さらに食器、食習慣、飲食作法など、生活全般にまで繋がる食の文化として発達してきました。

企画展では、穀類の米・小麦を主体に「粒食」や「粉食」に使用された昔の農具、食事づくりの道具を通じて先人の知恵に富む食文化の伝承について学んでいただく機会としました。



第 58 回 食糧増産運動時代の病虫害防除 平成 25 年 10 月 6 日～12 月 27 日

作物に対する病虫害防除は耕種技術の進歩とともに発展してきました。明治・大正～第 2 次世界大戦までは、使用薬剤も種類が少なく、防除面積も小規模にとどまっていた。



これに対し、戦後は食糧増産、安定多収、省力化など時代の要請を背景として、使いやすい農薬や防除機具が開発されました。

昭和 40 年代に入り、食品への残留や環境汚染等が問題となり、農薬の使用に起因する危被害防止の徹底を図りながら、防除が行われるようになりました。

企画展では、明治以降の病虫害防除技術の発達過程と戦後の食糧増産運動時代に使われた防除技術指導資料・農薬散布機具等を紹介しました。



第 59 回 むかしのくらし～先人の営みに学ぶ～ 平成 26 年 1 月 10 日～3 月 26 日



人びとは、くらしの安泰を求めて、働いては奉り、奉っては働くという物と心の調和を保ってくらしを営んできました。このため、季節の節目ごとの年中行事は欠かすことのできない大事なものでした。



企画展では、むかしの暮らしに使われた道具の紹介と、厳しい自然のなかで、神仏に祈りを捧げ、年中行事を大切

にしながら、家族、地域の人々との温かく心通わせた「むかしのくらし」の様子と「遠野郷の伝統食」を映像で学んでいただく機会としました。



お知らせ

～博物館ご利用案内～

【開館時間】 9:00 ～16:30 (入館は 16:00 まで)

【休館日】 毎週月曜日(ただし祝日の場合は翌日)
年末年始 (12 月 29 日～1 月 3 日)

【入館料】 小・中・高校生は無料
個人…学生 140 円／一般…290 円

団体(20 人以上) 学生…70 円／一般…140 円

※4/1 より一般の入館料が 300 円になります

多目的ホールの利用

農業科学博物館では、県民の皆様に多目的ホールを無料で貸し出しています。写真や絵画などの「作品展示」や、「学習活動の発表会」などにお使い下さい。

利用を希望される方は、博物館へご相談ください。



第 60 回 企画展「自給織物と道具」

開催期間 平成 26 年 4 月 5 日(土)～6 月 27 日(金)